

1 第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）

(1) 戦略概要

- 第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）（以下、「総合戦略」とする。）は、大きく「4つの基本目標」と、「2つの横断的な目標」を設定
- 基本目標には、各目標に数値目標を定め、その目標にそれぞれのプロジェクトを策定
- 計画期間については、令和4年度から令和8年度までの5年間
- 詳細については、第2次志布志市総合振興計画後期基本計画 P183～P199 に掲載

(2) 効果検証

ア 概要

- 地方版総合戦略や地方創生関連交付金の取組については、数値目標や KPI（重要業績評価指標）の進捗状況を確認し、効果検証を行う必要がある。

（一部引用）

令和4年12月 地方版総合戦略策定・効果検証のための手引き（令和4年12月版）

令和5年3月29日付け事務連絡「令和5年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱等について」

- 本市では、例年、本会議の「地方創生・SDGs 推進本部」と、外部有識者を含む「まち・ひと・しごと創生協議会」において、取組の効果検証を行い、その結果を議会へ提出、かつ、市ホームページへ掲載を通じて、広く周知することとしている。

イ 評価

- 令和4年度事業の効果検証について、各事業の所管課・局にて評価を行い、効果検証を行った。評価の基準については、以下の表のとおり。

事業効果区分	判断の理由等
A 地方創生に非常に効果的であった。	・ 令和4年度に目指す指標（KPI）に対し、想定よりも高い水準で達成できた。
B 地方創生に相当程度効果があった。	・ 令和4年度に目指す指標（KPI）に対し、相当程度（目標の7～8割程度）達成した。
C 地方創生に効果があった。	・ （令和4年度に目指す指標（KPI）に対し、）おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられた。
D 地方創生に効果がなかった。	・ 事業は実施したが、実績値が目標を下回っており、地方創生に貢献できたとはいえない。 ・ 事業開始前よりも事態が悪化している。
E 未実施（実施検討）	・ 財政上の理由や、外部環境の変化により、事業の実施に至らなかった。 ・ 他の事業を優先するため、実施を見送った。 ・ 実施体制を検討する必要がある。
F 事業完了	・ 総合戦略に基づき、期間中（R4）に事業を完了しており、令和4年度に目指す指標（KPI）の達成に貢献しているもの。

G その他	・他の類似事業との統合、目標値に対する評価が困難である場合 など。
-------	-----------------------------------

- なお、実施状況及び効果検証にあたっては、主な事業を掲載し、総合戦略の全ての事業については、「(3) 細事業評価 一覧」に掲載する。

基本目標 1

稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする

令和4年度決算額

312,100千円

ア 基本的方向

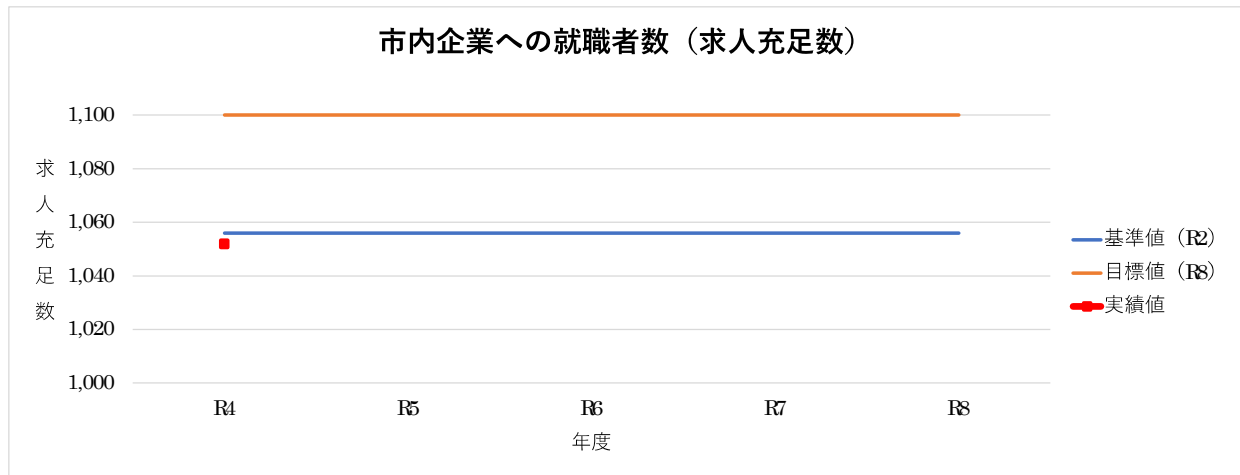
本市における労働力人口の減少に歯止めをかける上では、魅力的な仕事があり、ここに住み、働きたいと思えるまちであることが重要です。そのために、本市の強みである農林水産業や志布志港を生かした産業の振興を図ることで稼ぐ力を高め、安定した雇用の場の確保を目指します。また、若者や女性、高齢者、障がい者、就職氷河期世代の方々など、誰もが安心して働き、地域で活躍することができる環境づくりを通じ、担い手の確保や掘り起こしにもつなげていきます。

イ 数値目標

指標	基準値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
市内企業への就職者数 (求人充足数)	1,056	1,052					1,100

(指標の把握方法) ハローワーク大隅への聞き取り調査

単位: 人



ウ 具体的な施策

プロジェクト名	1-1 農林水産業の成長産業化プロジェクト	令和4年度決算額	57,473千円
---------	-----------------------	----------	----------

農林漁業者の所得向上を図り、農山漁村において雇用機会を創出するため、農業経営法人化の支援や減農薬農法の推進、花木生産振興、岩がきの養殖などによりバリューチェーンの構築等を推進し、農林水産業の成長産業化を図ります。また、ICTやロボット、AIなどを活用したスマート農業の推進に取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
第一次産業の市内総生産額 (市町村民所得推計報告書)	195 (H30)	213					223

(指標の把握方法) 鹿児島県HP: 市町村民所得推計報告書 (R2)

単位: 億円

主な事業の実施状況及び効果検証

畑地かんがい推進作物生産拡大事業 [農政畜産課生産流通係]

【効果・成果等】 作付調査を実施し、活用面積が 4,162.3ha となっており、前年度より 154.2ha 減少となった。

【課題等】 畑地かんがい施設の水利利用の推進のため、更なる水利利用の理解促進及び水利利用展示によるPR活動を必要。

環境保全型直接支払事業 (交付金) [農政畜産課農政係]

【効果・成果等】 茶を中心に減化学肥料・減農薬、有機農業の取組が拡大し、農業生産に起因する環境への負荷低減が図られた。

【課題等】 茶以外の作物への普及、推進。

特用林産物 (枝物) 振興事業 [耕地林務水産課林務水産係]

【効果・成果等】 特用樹林造成新植・補植及び生産施設整備を行い、面積拡大、生産性の向上が図られた。

【課題等】 花木生産者の高齢化が進んでいる。

水産振興事業 [耕地林務水産課林務水産係]

【効果・成果等】 志布志漁協が行っているイワガキ、ヒオウギガイの養殖事業を支援し、同事業の安定化が図られた。

雨漏りにより業務に支障をきたしていた志布志漁協事務所の屋根を修繕し、業務の円滑化が図られた。

県営事業でイセエビの増殖場整備を行い、水産資源の維持・回復が見込まれるようになった。

(※内訳) 漁業振興対策事業 [岩ガキ] 2,000千円

【課題等】 漁協組合員の高齢化が進み、また、水揚げ量が年々減少し魚価が安定しない。

特産品振興事業 [港湾商工課洋化-ル室観光特産品係]

【効果・成果等】 本市の特産品振興策として、特産品販売所及びオンラインショップの安定的な運営を行うため、特産品全般の情報収集及び販売促進、商品開発強化を行いながら本市特産品事業者の所得向上に寄与した。

【課題等】 アフターコロナを見据えた特産品販売イベント、オンラインショップにおける販売物の充実など、状況（ニーズ）の変化に応じたスピード感のある対応が必要である。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-1 農林水産業の成長産業化プロジェクト	2	2	5		3			12
	16.7%	16.7%	41.7%		25.0%			100.0%

【効果検証】

1-1 農林水産業の成長産業化プロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」、「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業が約75%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

また、「E 未実施（実施検討）」の事業が3事業あった。

プロジェクト名	1-2 新規就農支援プロジェクト	令和4年度決算額	50,487千円
---------	-------------------------	----------	-----------------

1次産業における生産者の高齢化や担い手不足に対応し、従事者を安定的に確保するため、都市住民へのアプローチも含め、新規就農者や農業後継者を総合的に支援します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
新規就農者数（独立自営及び後継者を含む）	12	12					20

(指標の把握方法) 青年等就農計画

単位：人

主な事業の実施状況及び効果検証

農業次世代人材投資事業 [農政畜産課農政係]

【効果・成果等】 独立・自営就農者の給付対象者15名に21,167,116円の交付を行った。

【課題等】 農家の負担を少なくするため、交付対象者に対する効率的な圃場調査や営農状況聞き取り方法の検討が必要。

農業公社支援事業 [農政畜産課農政係]

【効果・成果等】 新規就農者研修事業においては、27期生2組4名の研修生を受入、25期生2組4名が研修を修了し就農した。農作業受託事業においては直営作業として3,172ha行った。

【課題等】 近年の資材高騰により、就農時のビニールハウス建設費用が増加している状況である。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-2 新規就農支援プロジェクト	2		1					3
	66.7%		33.3%					100.0%

【効果検証】

1-2 新規就農支援プロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」という事業が全体の7割弱を占め、目指すKPIに対し、高い水準で事業実施がなされたことが伺える。

プロジェクト名	1-3 企業誘致プロジェクト	令和4年度決算額	71,388千円
---------	----------------	----------	----------

新たな雇用の創出と産業の活性化を図るため、工業団地の拡充を含めた企業誘致の取組を強化します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
新たな立地協定により創出される新規雇用者数 (増設含む) (累計)	35	12					180

(指標の把握方法) 立地協定締結における実績

単位: 人

主な事業の実施状況及び効果検証

企業立地促進事業 (市企業立地補助金) [港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]

【効果・成果等】 工場等の新設又は増設した事業所6社に41,900千円を助成した。

【課題等】 雇用促進補助について、補助要件が新規地元雇用者5人以上となっているが、増設の設備投資では、少子高齢化に伴う人材確保が困難な状況もあり、補助創設時と比べ、事業所のハードルが高くなっている。

企業立地推進事業 [港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]

【効果・成果等】 工場等3件の立地協定により、新たに12人の雇用を創出。

【課題等】 毎年立地協定を締結することを目標にしているが、次年度も達成できるよう事業所との連携を密にしていく必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-3 企業誘致プロジェクト		2	1					3
		66.7%	33.3%					100.0%

【効果検証】

1-3 企業誘致プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業で約70%を占め、目指すKPIに対し、一定の事業実施がなされたことが伺える。

プロジェクト名	1-4 志布志港輸出拡大プロジェクト	令和4年度決算額	46,539千円
---------	--------------------	----------	----------

地方創生の成長エンジンとなる資金を確保するため、特に海外の旺盛な消費需要に着目し、一次産品や加工品の輸出を通じた海外現地での需要開拓 (アウトバウンド) を支援します。

また、国をあげてその拡大が図られている状況等を鑑み、その下支えとなる物流について、志布志港を核に拡大を図るとともに、特に食品・農畜産物輸出の促進を図ります。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
コンテナ貨物の取扱量	10.37	10.90					12.00

(指標の把握方法) 鹿児島県への聞き取り調査

単位: 万TEU

主な事業の実施状況及び効果検証

志布志港新若浜地区国際コンテナターミナル利用促進事業 [港湾商工課みなと振興室みなと振興係]

【効果・成果等】 コンテナ助成金については、94件の申請があり、冷凍・冷蔵電源施設使用料については、16件の申請があった。これにより、コンテナ貨物の利用促進が図られている。

【課題等】 貨物の集荷に寄与しているものの、志布志港の認知度 (輸出が可能) が高いとは言えず、貨物の集荷・創貨を図るためには本事業の更なる周知・PRが必要。

輸出促進支援事業 [港湾商工課みなと振興室みなと振興係]

【効果・成果等】 申請件数は3件。海外の事業者等と対面で商談・意見交換をすることで、海外ニーズや現地での反応を直接感じ取ることができる。また、得られた情報やニーズを基に、海外向けの商品開発やプロモーションの方向性を定め、海外販路の拡大に寄与している。

【課題等】 本事業は海外見本市及び商談会への出展、市場調査の実施に有効な事業であるが、利用件数が伸びていない。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-4 志布志港輸出拡大プロジェクト		3	1					4
		75.0%	25.0%					100.0%

【効果検証】

1-4 志布志港輸出拡大プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業で約70%を占め、目指すKPIに対し、一定の事業実施がなされたことが伺える。

プロジェクト名	1-5 国内貨物志布志港利用促進プロジェクト	令和4年度決算額	45,999千円
---------	------------------------	----------	----------

フェリー・RORO 船を軸とした本市の地域経済循環の流れを維持するため、荷主等へのPRによる貨物の確保や地理的優位性を売りとした企業誘致を推進し、志布志港の利用促進を図ります。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
国内貨物移入・移出量	570	722					660

(指標の把握方法) 鹿児島県への聞き取り調査

単位: トン

主な事業の実施状況及び効果検証

さんふらわあ志布志航路利用促進事業 [港湾商工課みなと振興室みなと振興係]

【効果・成果等】 コロナ禍からの経済活動の回復により、国内需要及び消費が高まり、大都市圏への物流が活発化している。また、志布志港(さんふらわあやRORO)のPR並びにモーダルシフトの受け皿としての機能を果たしている。また、人流についても、本事業により徐々に回復傾向にある。

【課題等】 目標値を超える国内貨物移入・移出量となっているが、更なる取扱量の増加を目指し、志布志港の更なる機能強化を図っていく必要がある。また、人流についてもコロナ禍以前までの利用者数とはなっていないため、引き続き利用促進に努める必要がある。

志布志市工業団地開発事業【横断】 [港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]

【効果・成果等】 臨海工業団地(4工区)について、造成工事を完了することができた。

【課題等】 速やかに分譲開始できるように進めていきたい。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-5 国内貨物志布志港利用促進プロジェクト	2	1						3
	66.7%	33.3%						100.0%

【効果検証】

1-5 国内貨物志布志港利用促進プロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」及び「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業が100%を占め、目指す指標(KPI)に対し、想定よりも高い水準で達成できたことが伺える。

プロジェクト名	1-6 地元活躍人材育成プロジェクト	令和4年度決算額	40,214千円
---------	--------------------	----------	----------

地元で働く意識を醸成させることにより、若者の市外への流出を防ぐため、高校生をはじめとする若年層へ向けて地元企業の雇用情報を発信するなど、地元回帰希望を叶える取組を推進します。
女性、高齢者、障がい者、就職氷河期世代の方々など、誰もが活躍できる「全員参加の社会」を実現するため、就業促進や雇用の場の確保、就労支援の推進、地域活動参画の推進などに取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
就職説明会参加企業数	42	46					50
就職説明会参加者数	70	102					200

(指標の把握方法) 就職合同説明会実績

単位: 社・人

主な事業の実施状況及び効果検証

雇用促進事業（都城広域移住・定住促進パートナーシップ事業、企業魅力動画発信）〔港湾商工課商工振興係・企業立地推進係〕

【効果・成果等】 市内企業46社参加し、大隅地区の高校生ほか102人の参加があった。これまでの週末開催から平日開催に変更したことにより参加者が増加した。

【課題等】 市内企業の認知度を上げ、地元就職の機会創出、事業所の人材確保のため、説明会等の周知をさらに図っていきたい。

高齢者労働能力活用事業〔福祉課社会福祉係〕

【効果・成果等】 高齢者の生きがいの充実及び社会参加の促進を図るために、地域の日常生活に密着した仕事を提供するなど、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与した。

【課題等】 なし

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-6 地元活躍人材育成プロジェクト		1	3					4
		25.0%	75.0%					100.0%

【効果検証】

1-6 地元活躍人材育成プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」とする事業が100%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

【効果検証】

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
基本目標 1	6	9	11		3			29
	20.7%	31.0%	37.9%		10.3%			100.0%
1-1 農林水産業の成長産業化プロジェクト	2	2	5		3			12
	16.7%	16.7%	41.7%		25.0%			100.0%
1-2 新規就農支援プロジェクト	2		1					3
	66.7%		33.3%					100.0%
1-3 企業誘致プロジェクト		2	1					3
		66.7%	33.3%					100.0%
1-4 志布志港輸出拡大プロジェクト		3	1					4
		75.0%	25.0%					100.0%
1-5 国内貨物志布志港利用促進プロジェクト	2	1						3
	66.7%	33.3%						100.0%
1-6 地元活躍人材育成プロジェクト		1	3					4
		25.0%	75.0%					100.0%

基本目標 1

「A 地方創生に非常に効果的であった。」も約20%あり、目指す指標（KPI）に対し、想定よりも高い水準で達成できたことが伺える。全体として、「B 地方創生に相当程度効果があった。」と「C 地方創生に効果があった。」とする事業が約70%を占め、目指す指標（KPI）に対し、相当程度（目標の7～8割程度）達成したことが伺える。

基本目標 2

ひとや企業とのつながりを築く

令和4年度決算額 6,921,623千円

ア 基本的方向

人口減少が進む中においても本市が持続性と発展性を備える上では、本市に愛着や誇りをもつひとや企業を創出し、さらにはそういった方たちとつながりを築くことが重要です。そのために、いなか暮らしを望む方の本市への移住を促進することや小学校・中学校・高等学校段階における地元で誇りを持つ人材の育成を推進し、本市へのひとの定着を目指します。

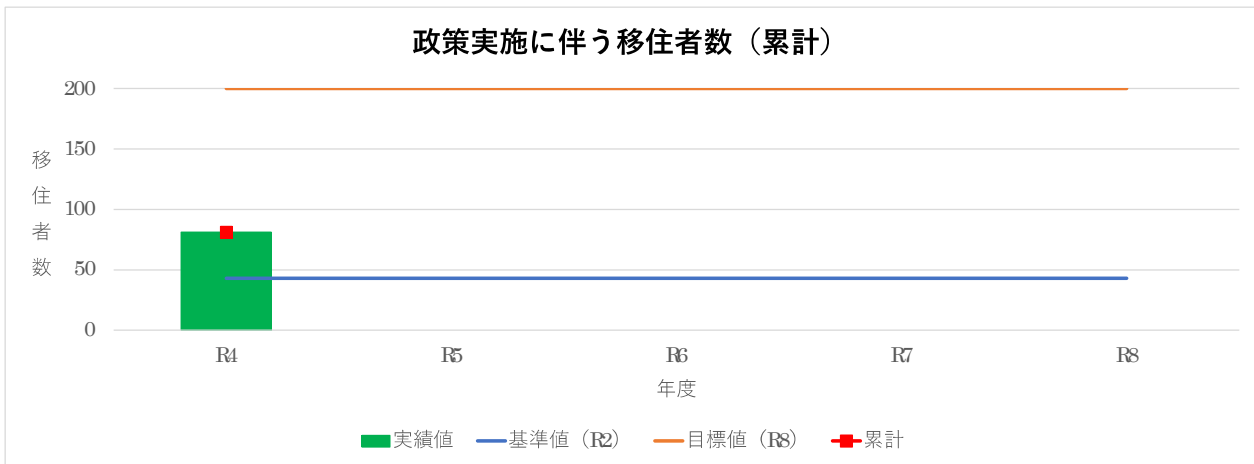
加えて、市外にありながらも本市や本市の人々と多様なかたちで関わる関係人口や企業とのつながりを深め、まちづくりの力にしていける取組を展開します。

イ 数値目標

指標	基準値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
政策実施に伴う移住者数 (累計)	43	81					200

(指標の把握方法) 本市の移住・定住に係る施策を活用した移住者数

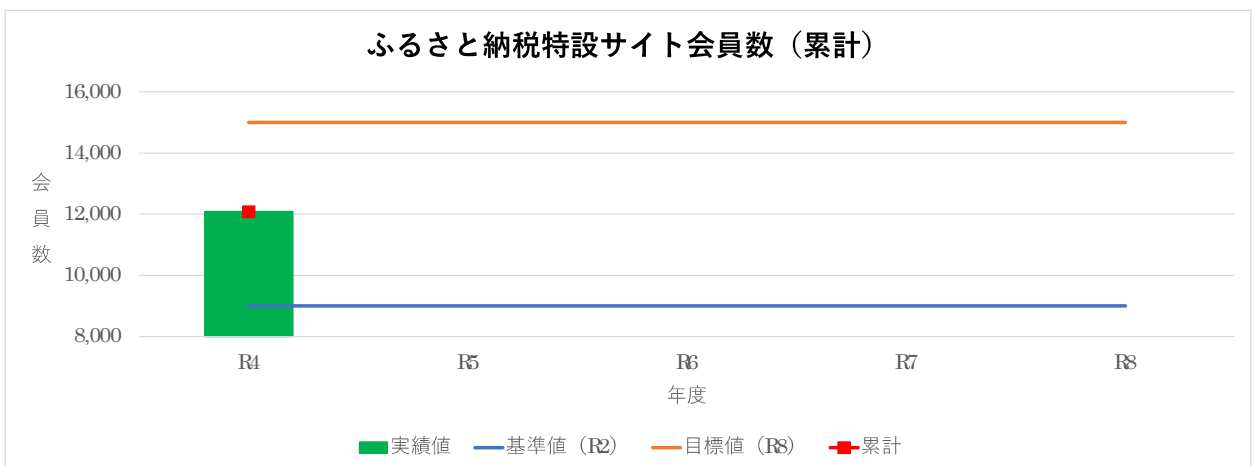
単位: 人



指標	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
ふるさと納税特設サイト会員数 (累計)	9,000	12,080					15,000

(指標の把握方法) 令和4年度末に特設サイトの管理画面で確認

単位: 人



ウ 具体的な施策

プロジェクト名	2-1 都市住民向けPRプロジェクト	令和4年度決算額	3,455,507千円
---------	--------------------	----------	-------------

本市での豊かな暮らしや夢の実現等への機運の醸成を図るため、特に都市住民や若者、女性に向け、本市への居住につながる効果的、戦略的な情報発信を行います。

また、本市の魅力を広く発信するため、ふるさと納税の強力な宣伝効果を活用し、特産品等を通じた知名度向上を図ります。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
移住セミナー開催回数 (累計)	13	24					50
ふるさと納税寄附件数	217,136	272,323					200,000

(指標の把握方法) セミナー実施数 (市、エスプラネードによる実施・参加分)

単位: 回

(指標の把握方法) 令和4年度決算に基づく寄附件数

単位: 件

主な事業の実施状況及び効果検証	
志布志市移住・交流支援業務 [総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	
【効果・成果等】	移住等相談件数：117件 HP、SNS、ラジオ、メールマガジン等による情報発信を行った。
【課題等】	情報発信を積極的に行ったことにより、相談件数も増加した。
特産品振興事業【横断】 [港湾商工課シティールーム観光特産品係]	
【効果・成果等】	本市の特産品振興策として、特産品販売所及びオンラインショップの安定的な運営を行うため、特産品全般の情報収集及び販売促進、商品開発強化を行いながら本市特産品事業者の所得向上に寄与した。
【課題等】	アフターコロナを見据えた特産品販売イベント、オンラインショップにおける販売物の充実など、状況（ニーズ）の変化に応じたスピード感のある対応が必要である。
ふるさと納税推進事業【横断】 [港湾商工課シティールームふるさと納税係]	
【効果・成果等】	ふるさと納税事業は、継続的な取り組みを行ってきたことにより、鰻をはじめとする特産品は、ふるさと納税を通じて全国的に有名になるなど、特産品のPRに貢献している。 令和4年度の寄附件数・寄附額は272,323件、6,219,600,100円と寄附額ベースで前年比117%。寄附額でも大きく成果を上げることができた。
【課題等】	出店先のポータルサイト手数料の割合が増えるなど、事業費が年々増加傾向にある。市に残る財源を確保するために、事業の効率化を図り、事業費の縮減を図る必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
2-1 都市住民向けPRプロジェクト	1	3	4					8
	12.5%	37.5%	50.0%					100.0%

【効果検証】

2-1 都市住民向けPRプロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」及び「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業が約50%を占め、目指す指標（KPI）に対し、相当程度（目標の7～8割程度）達成したことが伺える。

プロジェクト名	2-2 移住定住拡充プロジェクト	令和4年度決算額	25,672千円
---------	------------------	----------	----------

移住希望者を受け入れ、移住や定着を促進するため、それらの受け皿となる拠点の整備やコーディネートする人員の配置を行うほか、ターゲットを定めた情報発信の強化や住居の確保、就業に関する支援など、総合的な支援体制の構築に取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
政策実施に伴う移住者数 (累計)	43	81					200

(指標の把握方法) 本市の移住・定住に係る施策を活用した移住者数

単位：人

主な事業の実施状況及び効果検証	
東京圏移住支援事業 [総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	
【効果・成果等】	申請者なし
【課題等】	国の政策であるが、補助対象者となる条件が厳しい。
UIIターン推進事業 [総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	
【効果・成果等】	補助金交付実績：10件 移住者：32名
【課題等】	一概に言えないが、補助額が移住・定住への検討の要因になっている。
定住促進住宅用地整備事業 [松山支所総務市民課地域振興係 (松)]	
【効果・成果等】	登記業務委託により分譲地の地番を確定し、3区画の販売を開始した。
【課題等】	3区画の売売に向けて、分譲地の販売PRに努めなければならない。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
2-2 移住定住拡充プロジェクト		1	4				1	6
		16.7%	66.7%				16.7%	100.0%

【効果検証】

2-2 移住定住拡充プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業が約83%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	2-3 まち思い人材育成プロジェクト	令和4年度決算額	6,354千円
---------	--------------------	----------	---------

将来の地域を支える人材を育成するため、小学校・中学校段階において郷土教育等地域に関連する授業を実施することや高等学校段階においては地域と高等学校が連携・協働し、地域への課題意識や貢献意識を深めるような探求的な学びを実現していくこと等により魅力化を図り、地域を知り、誇りを持ち、根付くような人材の育成を推進します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
地域の行事に参加している児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査質問紙調査) 【小学生】	62.1	50.4					72.2
地域の行事に参加している児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査質問紙調査) 【中学生】	52.7	31.6					55.2

(指標の把握方法) 実績値

単位：%

主な事業の実施状況及び効果検証

キラリ輝く「しゅしゅ」育成事業（土曜体験広場）【教育委員会生涯学習課社会教育係】

【効果・成果等】 新型コロナウイルス感染予防のため、活動が制限されることもあったが、各校区公民館等が工夫し、その特性を生かした活動が計画、実施された。

【課題等】 地域の特性を生かした体験活動が計画されているが、参加者の確保に苦慮している現状もある。周知の方法や、実施時期等、関係機関を連携を図る必要がある。

市内高等学校支援事業【総合政策課広報・地域政策G_広報】

【効果・成果等】 バス通学補助：延べ316名 検定受験補助：延べ202名

【課題等】 高等学校の活性化に向けて、効果的な支援内容について、学校側と協議する必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
2-3 まち思い人材育成プロジェクト		1	2					3
		33.3%	66.7%					100.0%

【効果検証】

2-3 まち思い人材育成プロジェクト

「C 地方創生に効果があった。」という事業で約67%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	2-4 関係人口創出・拡大プロジェクト	令和4年度決算額	3,433,925千円
---------	---------------------	----------	-------------

地域外にありながら地域や地域の人々に多様なかたちで関わる「関係人口」を地域の力にしていけるため、個人や企業が本市と継続的なつながりを持つ機会、きっかけを創出するなど、本市と「関係人口」の関係性を深める取組を行います。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
ふるさと納税特設サイト会員数 (累計)	9,000	12,080					15,000

(指標の把握方法) 令和4年度末に特設サイトの管理画面で確認

単位: 人

主な事業の実施状況及び効果検証	
特産品振興事業【横断】 [港湾商工課シティールーム観光特産品係]	
【効果・成果等】	本市の特産品振興策として、特産品販売所及びオンラインショップの安定的な運営を行うため、特産品全般の情報収集及び販売促進、商品開発強化を行いながら本市特産品事業者の所得向上に寄与した。
【課題等】	アフターコロナを見据えた特産品販売イベント、オンラインショップにおける販売物の充実など、状況（ニーズ）の変化に応じたスピード感のある対応が必要である。
ツーリズム推進事業 [農政畜産課農政係]	
【効果・成果等】	教育旅行の受入は3校65名の受入を行った。先進地研修などの活動を行った。
【課題等】	協議会の会員数（受入家庭）が減少している状況であるため、受入時の受入家庭数の不足が課題となっている。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
2-4 関係人口創出・拡大プロジェクト	1	1	2					4
	25.0%	25.0%	50.0%					100.0%

【効果検証】

2-4 関係人口創出・拡大プロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」及び「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業が約50%を占め、一定の事業実施がなされたことが伺える。

プロジェクト名	2-5 官民連携推進プロジェクト	令和4年度決算額	165千円
---------	------------------	----------	-------

企業等とのつながりを地域の力にしていけるため、包括的な連携の推進を図るとともに、企業版ふるさと納税を推進します。また、企業等とのパートナーシップの構築により、SDGsの達成にもつなげます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
企業版ふるさと納税寄附件数		3	9				20
企業との包括連携協定締結数		8	1				13

(指標の把握方法) 企業版ふるさと納税寄附実績

単位: 件

(指標の把握方法) 包括連携協定締結数

単位: 件

主な事業の実施状況及び効果検証	
企業版ふるさと納税活用事業 [総合政策課政策推進G_政策推進]	
【効果・成果等】	9社から10,900千円の寄附をいただき、10事業に充当した。
【課題等】	企業へ寄附依頼を行う際、どの事業が対象は不明瞭であるので、対象事業を明確にし、寄附をお願いしたい事業を各課ヒアリングの上、整理する必要がある。
包括連携促進事業【横断】 [総合政策課政策推進G_政策推進]	
【効果・成果等】	(株)伊藤園と包括連携協定を締結した（1件）。
【課題等】	企業からの提案に対し、各課・局と認識共有が図られていない状況がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
2-5 官民連携推進プロジェクト			2					2
			100.0%					100.0%

【効果検証】

2-5 官民連携推進プロジェクト

「C 地方創生に効果があった。」という事業で100%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

【効果検証】

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
基本目標 2	2	6	14				1	23
	9.1%	27.3%	63.6%				4.3%	100.0%
2-1 都市住民向けPR プロジェクト	1	3	4					8
	12.5%	37.5%	50.0%					100.0%
2-2 移住定住拡充プ ロジェクト		1	4				1	6
		16.7%	66.7%				16.7%	100.0%
2-3 まち思い人材育 成プロジェクト		1	2					3
		33.3%	66.7%					100.0%
2-4 関係人口創出・ 拡大プロジェクト	1	1	2					4
	25.0%	25.0%	50.0%					100.0%
2-5 官民連携推進プ ロジェクト			2					2
			100.0%					100.0%

基本目標 2

「A 地方創生に非常に効果的であった。」も約10%あり、目指す指標（KPI）に対し、想定よりも高い水準で達成できたことが伺える。全体として、「B 地方創生に相当程度効果があった。」と「C 地方創生に効果があった。」とする事業が約70%を占め、目指す指標（KPI）に対し、相当程度（目標の7～8割程度）達成したことが伺える。

基本目標 3

結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

令和4年度決算額

2,258,514千円

ア 基本的方向

少子化の流れに歯止めをかけるためには、安心して結婚し、子どもを産み育てることができる環境を整えることにより、特に若い世代において、結婚・出産・子育ての希望を実現できることが重要です。

そのために、引き続き、結婚や出産に対するサポートを行うとともに、包括的で切れ目のない子育て支援策を講じます。加えて、子育て世代の働く場など、社会全体で少子化対策に取り組む機運を醸成することや本市における教育の場を整え、子どもたちが健やかに育つ地域社会の形成を目指します。

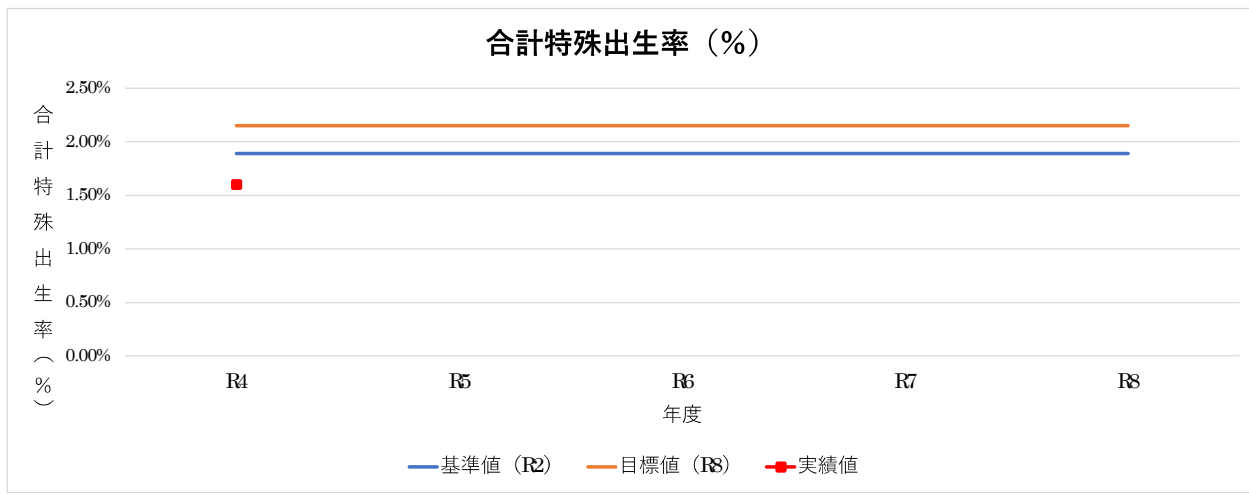
イ 数値目標

指標	基準値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
合計特殊出生率 (%)	1.89%	1.60%					2.15%

(指標の把握方法) 実績値

(※R3年度実績)

単位: 数値



ウ 具体的な施策

プロジェクト名	3-1 結婚支援プロジェクト	令和4年度決算額	3,446千円
---------	----------------	----------	---------

結婚、妊娠・出産、子育ての各段階のうち、特に結婚段階を支援するため、若い世代への結婚に至る前の出会いの場の提供や新婚世帯の経済的支援に取り組めます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
婚活イベントによるカップル成立数 (累計)	0	4					10

(指標の把握方法)

イベント実施時によるカップル成立数

単位: 組

主な事業の実施状況及び効果検証

出会いサポート事業 [総合政策課広報・地域政策G_地域政策]

【効果・成果等】 【参加者】 印象力アップセミナー: 8人、カップリングイベント: 16人

【課題等】 カップリングイベントの女性参加者の応募が少ない。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
3-1 結婚支援プロジェクト			2					2
			100.0%					100.0%

【効果検証】

3-1 結婚支援プロジェクト

「C 地方創生に効果があった。」という事業で100%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	3-2 ウェルカム赤ちゃんプロジェクト	令和4年度決算額	44,194千円
---------	---------------------	----------	----------

結婚、妊娠・出産、子育ての各段階のうち、特に妊娠・出産段階を支援するため、「子育て世代包括支援センター」を中心とした切れ目のない支援策を講じるほか、経済的な支援、適切な情報の提供による支援等、不安なく赤ちゃんを迎えられる取組を推進します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
出生数	183	182					215
合計特殊出生率	1.89	1.60(R3)					2.15

(指標の把握方法) 人口動態統計調査

単位: 人

(指標の把握方法) 人口動態統計調査を基に算出

単位: 数値

主な事業の実施状況及び効果検証

不妊治療費助成事業 [保健課健康支援係]

【効果・成果等】 不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の精神的負担と経済的負担の軽減を図ることができた。

【課題等】 必要な方が制度を利用できるよう、情報提供・周知していく必要がある。

子育て世代包括支援センター事業 [保健課健康支援係]

【効果・成果等】 健診や相談等で育児や食生活への助言を行い、育児不安の解消や仲間づくりの場の提供を行った。

【課題等】 研修会への参加やケースカンファレンスなどの充実により、事業の質の向上を図り、継続支援が必要なケースへの関わりを積極的に行っていく必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
3-2 ウェルカム赤ちゃんプロジェクト		3	1					4
		75.0%	25.0%					100.0%

【効果検証】

3-2 ウェルカム赤ちゃんプロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業が約75%を占め、目指すKPIに対し、一定の事業実施がなされたことが伺える。

プロジェクト名	3-3 子育て支援プロジェクト	令和4年度決算額	2,104,290千円
---------	-----------------	----------	-------------

結婚、妊娠・出産、子育ての各段階のうち、特に子育て段階を支援するため、子どもを取り巻く環境を整備するとともに、子育て世代への経済的支援を行うなど、子育てに喜びを感じられる取組を推進します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
ファミリーサポート登録数 (依頼会員数)	197	204					220

(指標の把握方法) 子育て支援センター実績報告

単位: 人

主な事業の実施状況及び効果検証

地域子育て支援拠点事業 [福祉課児童福祉係]

【効果・成果等】 地域子育て支援情報の提供、育児不安の解消に向けた相談、また、虐待、DV等の相談窓口となり、子育て支援の拠点として、安心して産み育てる環境づくりに取り組んだ。

【課題等】 両子育て支援センターとも設置後10年以上を経過しているが、子育てニーズも年々多様化しており、その対応策や、事業が定例的になっており、新たな事業展開を検討する必要がある。

子どものショートステイ事業 [福祉課児童福祉係]

【効果・成果等】 保護者の出産や入院等の理由で、一時的に児童を預けることにより、安心して出産や治療等を行え、児童及びその家庭の福祉向上が図れた。

【課題等】 児童養護施設の空き状況によって利用が出来ないことや、空きが無いことで遠方の施設利用となるなど、施設の利用しづらさが見受けられる。

学校給食費補助事業 [教育委員会教育総務課給食センター管理係]

【効果・成果等】 事業を実施することで、経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境が図られ、少子化対策を推進することができた。

【課題等】 恒久的な財源確保が必要。

子ども医療費助成事業 [福祉課児童福祉係]

【効果・成果等】 自動償還方式による医療費助成及び現物給付方式による医療費給付をすることにより、子どもが医療を受けやすくなる。また、疾病の早期治療と発見を促すことができたとともに、子どもを産み育てやすい環境整備が図られた。

【課題等】 子ども医療費の県補助については、現物給付方式の対象者分と未就学児分のみ3,000円を超える分となっているため、それ以外は、市が負担している。義務教育終了までの医療費負担を県等にも要望が必要がある。

放課後児童健全育成事業 [福祉課児童福祉係]

【効果・成果等】 仕事と子育ての両立支援や児童の健全育成対策として重要な役割を担っており、社会全体で児童健全育成の必要性の高まっている。放課後、児童に適切な遊び及び生活の場を与えることで、その健全な育成が図られた。

【課題等】 放課後児童クラブを運営している施設では、尾野見児童クラブのみが施設を借上げている。小学校の余裕教室が利用できないか、教育委員会と協議していく必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
3-3 子育て支援プロジェクト	5	5	3					13
	38.5%	38.5%	23.1%					100.0%

【効果検証】

3-3 子育て支援プロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」及び「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業が約76%を占め、一部事業では、目指す指標（KPI）に対し、想定よりも高い水準で達成できたことが伺える。

プロジェクト名	3-4 仕事子育て両立支援プロジェクト	令和4年度決算額	2,857千円
---------	----------------------------	----------	----------------

仕事と家庭が両立できる「働き方」を実現し、男女ともに社会や家庭で活躍できる社会を構築するため、事業主を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発や働きやすい職場環境づくりに関する支援等を行います。

また、働く場面で活躍したいという希望を持つ全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向け、女性に向けた就業支援や雇用環境の改善に取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
女性活躍推進事業に取り組んだ事業所数	3	12					15

(指標の把握方法) 女性活躍推進事業の実績 (累計)

単位: 社

主な事業の実施状況及び効果検証

女性活躍推進事業 [コミュニティ推進課ダイバーシティ推進係]

【効果・成果等】 事業内容については好評をいただいております。地域の高校生のキャリア教育としても寄与している。将来に向けた女性リーダーの育成や働き方の多様化について、事業所・企業側にもメリットを感じてもらっている。

【課題等】 積極的な取組により事業内容は充実しているが、参加企業の固定化が課題。事業の趣旨を周知する必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
3-4 仕事子育て両立支援プロジェクト		2						2
		100.0%						100.0%

【効果検証】

3-4 仕事子育て両立支援プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業が約100%を占め、目指すKPIに対し、一定の事業実施がなされたことが伺える。

プロジェクト名	3-5 ころごしアップ教育推進プロジェクト	令和4年度決算額	103,727千円
---------	-----------------------	----------	-----------

児童生徒やその保護者等が、この場所で学びたい、学ばせたいと思う地域で在り続けるため、図書館や塾の立地条件等などの環境要因に左右されない学習環境の提供を行うとともに、家庭学習を習慣化するための啓発などを行い、確かな学力の定着を図ります。

また、急速に情報化が進展する中で生きる力を育むため、子どもたちの情報活用能力を育成するプログラミング教育や教科指導でのICT活用、教員の事務負担の軽減と子どもと向き合う時間の確保のための統合型校務支援システムの活用など、教育の情報化を推進します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
学力水準 (全国学力・学習状況調査の正答率) 【小6国語】	65 【国：63.8】	63					小：全国平均を上回る
学力水準 (全国学力・学習状況調査の正答率) 【小6算数】	64 【国：66.6】	60					小：全国平均を上回る
学力水準 (全国学力・学習状況調査の正答率) 【中3国語】	65 【県：70】	62					中：県平均を上回る
学力水準 (全国学力・学習状況調査の正答率) 【中3数学】	53 【県：57】	40					中：県平均を上回る
「志学教室」平均参加者数【中学生】	88	107					100

(指標の把握方法) 全国学力・学習状況調査

単位：%

(指標の把握方法) 実績値

単位：人

主な事業の実施状況及び効果検証

土曜学習教室事業 [教育委員会学校教育課指導係]

【効果・成果等】部活の練習試合や高校の体験入学（オープンキャンパス）・統一模試等がある中で、計画的に率先して年間15回を受講した。やり終えた充実感と次へのステップに向けた意志の高まりを感じた。特に3回の夢プロジェクトは、将来の自分に向けた志を高めたようである。

【課題等】現在、支援員・塾講師経験者等に講師を依頼している。高校の数学・英語の先生方にも御協力をいただけるよう発信していきたい。また、講師だった夢プロジェクトは今後も継続して取り組んでいきたい。

中学校英語技能検定実施事業 [教育委員会学校教育課学校教育係]

【効果・成果等】英語技能検定受験率や英語技能検定3級相当以上の人数の割合も増加し、英語教育の充実と生徒の英語力の向上を図ることができた。

【課題等】英語協会への委託事業であり、年3回行われる検定のうち1回の受検費を助成するものである。今後も中学校と連携しながら、生徒や保護者への啓発を図る必要がある。

学力向上推進事業 [教育委員会学校教育課指導係]

【効果・成果等】鹿児島大学等の教授等による授業改善に向けた関わりや教育講演会、授業力アップセミナー等を通し、教職員の資質向上が図られている。

【課題等】学校、家庭、地域が連携した取組をより推進していく必要がある。また引き続き「学習者主体」の学びの授業が推進されるよう指導法の改善が必要である。

教育用・校務用コンピューター導入事業 [教育委員会教育総務課総務係 (教育)]

【効果・成果等】市内全ての小中学校の児童生徒、教諭用のパソコンがタブレット端末になり、児童生徒の情報活用能力の育成と教諭が大型ディスプレイ等のICT機器を日常的に活用して指導できる環境を整えることができた。また定期的な校内LAN設備の保守点検により、インターネットを活用した授業も円滑に行うことができた。

【課題等】無し

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
3-5 ころごしアップ教育推進プロジェクト		6	1					7
		85.7%	14.3%					100.0%

【効果検証】

3-5 ころごしアップ教育推進プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」という事業で約85%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

【効果検証】

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
基本目標3	5	16	7					28
	17.9%	57.1%	25.0%					100.0%
3-1 結婚支援プロジェクト			2					2
			100.0%					100.0%
3-2 ウェルカム赤ちゃんプロジェクト		3	1					4
		75.0%	25.0%					100.0%
3-3 子育て支援プロジェクト	5	5	3					13
	38.5%	38.5%	23.1%					100.0%
3-4 仕事子育て両立支援プロジェクト		2						2
		100.0%						100.0%
3-5 ころごしアップ教育推進プロジェクト		6	1					7
		85.7%	14.3%					100.0%

基本目標3

「A 地方創生に非常に効果的であった。」も約17%あり、目指す指標（KPI）に対し、想定よりも高い水準で達成できたことが伺える。全体として、「B 地方創生に相当程度効果があった。」と「C 地方創生に効果があった。」とする事業が約82%を占め、目指す指標（KPI）に対し、相当程度（目標の7～8割程度）達成したことが伺える。

基本目標 4

魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる

令和4年度決算額 1,034,317千円

ア 基本的方向

人口減少社会に適應する上では、人々が暮らしやすいと感じられるまちの基盤を維持・確保しつつ、さらに、人々が訪れたい、住み続けたいと思える地域づくりを通じ、まちの魅力を高めることが重要です。

そのために、都市機能や日常生活サービス機能、集落生活圏の維持・確保を目指すとともに、併せて広域での連携なども推進します。また、本市ならではの観光地づくりや環境にやさしいまちづくりに取り組むとともに、地域の防災力を高め、未来の世代へ引き継いでいけるまちの形成を推進します。

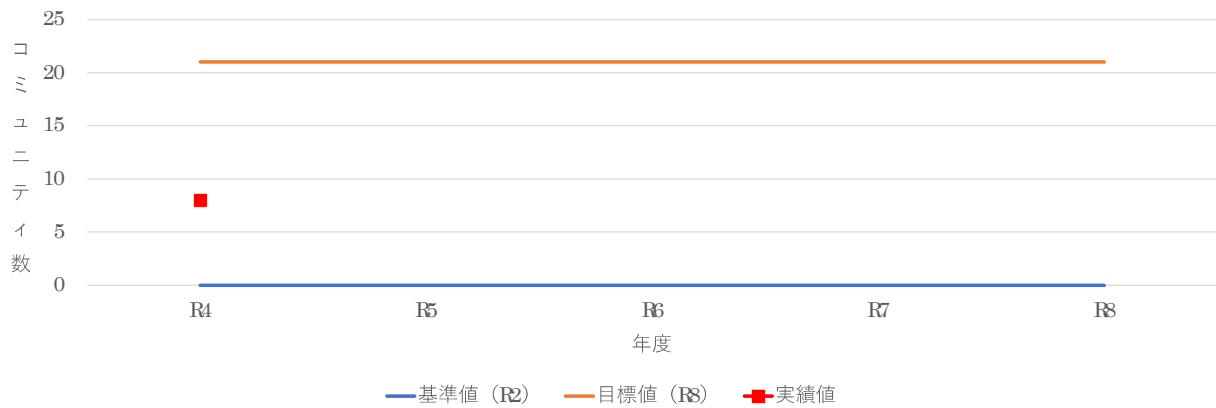
イ 数値目標

指標	基準値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
新たな地域コミュニティの組織数	0	8					21

(指標の把握方法) 公民館組織がコミュニティ組織になった地区数

単位: 地区

新たな地域コミュニティの組織数



ウ 具体的な施策

プロジェクト名	4-1 快適な生活支援プロジェクト	令和4年度決算額	290,646千円
---------	-------------------	----------	-----------

人口減少社会においても誰もが暮らしやすいと思えるような持続可能なまちづくりのため、経済や生活に必要な機能を一定の地域に集約する「コンパクトなまちづくり」やそれらと各地域を交通や情報通信で結ぶ「ネットワークの形成」に取り組みます。さらに、地域の暮らしに不可欠な地域公共交通サービスの確保・充実等を図るとともに、集落生活圏やコミュニティの在り方の見直しに取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
公共交通の利用者数	96,877	95,283					102,100
新たな地域コミュニティ組織数	0	8					21

(指標の把握方法) 廃止代替路線バス輸送人数、 JR日南線(南宮崎~志布志)平均通過人員数、 チョイソコ乗車実績数、 福祉タクシー利用実績数

単位: 人

(指標の把握方法) 公民館組織がコミュニティ組織になった地区数

単位: 地区

主な事業の実施状況及び効果検証

自治振興事業 (自治会集会施設等整備事業) [コミュニティ推進課地域コミュニティ係]

【効果・成果等】 自治会活動拠点の整備に対して助成することにより、地域コミュニティ意識の高揚及び自主的な自治会活動の促進を図ることができた。

【課題等】 コロナ禍により、これまでの自治会活動が実施できない状況が生まれているが少しずつ活動が回復しつつある。また、人口減少、少子高齢化、自治会未加入世帯の増などにより1自治会当たりの会員数が減少し、重ねて役員のなり手不足など、自治会運営が困難な自治会が出てきている。

通信設備維持管理事業 [情報管理課地域情報係]

【効果・成果等】 通信設備等の保守管理により、安定した情報通信の維持が図られた。

【課題等】 令和3年7月に地域情報通信基盤設備の一部を民間事業者へ譲渡したが、譲渡後も安定的なサービスの提供が可能となるよう、経営及び事業内容を継続して把握する必要がある。

チョイソコしぶし運行事業 [総合政策課広報・地域政策G_地域政策]

【効果・成果等】 令和4年10月から、実証運行から本格運行へ移行した。
 会員数 : 1,123人

【課題等】 利用者の利便性向上と運営費負担軽減のため、事業所（スポンサー）停留所を増やす。
 デマンド型運行のシステムの認知度が低い。

福祉タクシー運行事業 [福祉課社会福祉係]

【効果・成果等】 健康で生き生きと暮らすために、日用品の購入、通院等は欠かせないものである。交通弱者対策として利用者からは大変喜ばれている。

【課題等】 チョイソコしぶしと福祉タクシーの今後の運行について検討を行う必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-1 快適な生活支援プロジェクト	1	3	13		2			19
	5.3%	15.8%	68.4%		10.5%			100.0%

【効果検証】

4-1 快適な生活支援プロジェクト

一部、「A 地方創生に非常に効果的であった。」や「E 未実施（実施検討）」という事業があり、パラツキがあるものの、「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業が約85%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-2 商工業賑わい創出プロジェクト	令和4年度決算額	189,194千円
---------	---------------------------	----------	------------------

地域経済を支える中小企業の生産性向上と収益力強化を図るため、創業や経営に係る支援を包括的に行うとともに、商店街活性化などによる地域経済を維持、発展させるための取組を行います。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
商店街における新規開店・再開件数 (累計)	13	1					5

(指標の把握方法) 商工振興係調べ

単位: 件

主な事業の実施状況及び効果検証

創業者等応援支援事業 [港湾商工課商工振興係]

【効果・成果等】 11事業者が補助金の交付を受け、市内で創業した。

【課題等】 商店街モデル地区での創業がなかった。

事業継続設備投資等支援事業 [港湾商工課商工振興係]

【効果・成果等】 14事業者が補助金の交付を受け、店舗のリフォームや新型コロナウイルス感染症対策を実施された。

【課題等】 計画以上の予算執行ができていない。

商店街活性化イベント事業 [港湾商工課商工振興係]

【効果・成果等】 セブティイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、節分イベントは2月5日に開催し、ぼっぼマルシェ等も含めて約2,000人が来場された。

【課題等】 商店街による主体的かつ継続的な取組が、賑わいの創出並びに商店街の持続的な発展に必要不可欠と考えられる。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-2 商工業賑わい創出プロジェクト		5	4	1				10
		50.0%	40.0%	10.0%				100.0%

【効果検証】

4-2 商工業賑わい創出プロジェクト

「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業が約90%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-3 公共施設最適化プロジェクト	令和4年度決算額	22,850千円
---------	-------------------	----------	----------

人口減少社会における人口規模や財政状況に適応した公共施設等を備えていくため、公共施設等のストックマネジメントを強化します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
建物系公共施設の総資産量 (延床面積) の削減率	0.6%	0.4%					7.7%

(指標の把握方法) 固定資産台帳 単位: %

主な事業の実施状況及び効果検証

志布志市地域優良賃貸住宅整備事業 [建設課建築住宅G_建築]

【効果・成果等】 入居の募集業務から、維持管理運営に係る業務までを指定管理者に委託。民間サービスを活用することで安定した住環境の供給を図れた。

【課題等】 入居率が当初の目標に届いていない。広報活動の見直し、工夫が必要である。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-3 公共施設最適化プロジェクト			1	1				2
			50.0%	50.0%				100.0%

【効果検証】

4-3 公共施設最適化プロジェクト

「C 地方創生に効果があった。」という事業が約50%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-4 広域連携推進プロジェクト	令和4年度決算額	4,210千円
---------	------------------	----------	---------

圏域人口を確保し、活力ある社会経済を維持するため、定住自立圏や大隅総合開発期成会など、近隣自治体との広域行政への参画を通じ、市単独では解決できない課題の解決や広域で取り組むことでより高い効果を生むと考えられる事項の推進を図ります。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
定住自立圏形成協定締結数	2	2					2

(指標の把握方法) 定住自立圏形成協定件数 単位: 圏域

主な事業の実施状況及び効果検証

大隅総合開発期成会参画事業 [総合政策課政策推進G_政策推進]

【効果・成果等】 大隅総合開発期成会に参画し、国や県への要望活動などを行った。

【課題等】 地域課題など、各市町担当課と情報共有を図りつつ、課題解決に向け、共に検討する環境づくりが必要である。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-4 広域連携推進プロジェクト			3					3
			100.0%					100.0%

【効果検証】

4-4 広域連携推進プロジェクト

「C 地方創生に効果があった。」という事業で100%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-5 観光パワーアッププロジェクト	令和4年度決算額	111,905千円
---------	--------------------	----------	-----------

ひとが訪れたいと思える魅力ある観光地づくりのため、ダグリ岬やJR志布志駅、日本遺産に認定された麓地区など、本市の個性を生かした観光分野の振興を図るとともに、広域連携による観光振興にも取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
観光入込客数	31.3	49					90
宿泊者数	66,092	97,459					90,000

(指標の把握方法) 県観光統計

単位: 万人

(指標の把握方法) 県観光統計

単位: 人

主な事業の実施状況及び効果検証

ダグリ岬周辺景観整備事業 [港湾商工課シティー&リゾート観光特産品係]

【効果・成果等】 ダグリ岬ベイサイドパーク構想用地については、購入予定地16筆のうち11筆を購入した。また、購入地の調査測量を実施し今後の開発計画の礎とした。

【課題等】 整備予定地のうち残り5筆955.45㎡が未取得である。用地取得に向け交渉を行う必要がある。

歴史のまちづくり事業 [教育委員会生涯学習課文化財管理室指定文化財係]

【効果・成果等】 庭園保存修理工事として、樹木の整枝・低木剪定等を実施し、今後の保存修理工事のため、庭園周囲の石垣写真測量及び庭門・石塀の実測作業を実施した。主屋保存修理工事として、なかえの建具工事、おもての木工事及び耐震補強工事を行い、防災設備設置工事を実施した。利用不可能な鬼瓦について、新規で作成を行った。これらの事業は、整備検討委員会で検討し、その助言を基に実施した。

【課題等】 福山氏庭園の敷地には主屋の他に土蔵、板蔵、隠居屋の建物があり、武家門や庭園と併せて今後の整備活用を考える必要がある。

スポーツ合宿誘致事業 [港湾商工課シティー&リゾート観光特産品係]

【効果・成果等】 3月に実施のSHIBUSHI FOOTBALL FESTIVALについては、宿泊施設の調整がつかず参加校数が13校減少したものの、延べ参加者数は3,409人となり増加がみられた。韓国の東国大学野球部の合宿については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止されたが、昨年度は実施された。

また、昨年度初開催されたJBCF志布志クリテリウムについては、150名の競技参加があるとともに、公式ライブ配信の視聴数が1.8万件あり本市のPRを行うことができた。

【課題等】 コロナ禍において、縮小していた大学合宿が再開されつつあるため、本市が相手方にとっていかに魅力的な合宿先となることができるか、助成制度のブラッシュアップはもちろんのこと、施設の問題点等についても関係課と情報共有し改善に向けて協議していく必要がある。

魅力ある観光地づくり事業 [港湾商工課みなと振興室みなと振興係]

【効果・成果等】 市内各事業者を訪問し、体験型観光コンテンツが作成できつつあることは大きな前進となった。スタンプラリーによる周遊事業も参加者が昨年度より大幅に増えた。志布志市郷土かるたが観光コンテンツとなり得ることが実証された。

【課題等】 コロナ禍において観光の形が変化していく中で、時流にあった適切な誘客活動が必要。商品作成したものの、販売実績が思わしくないため、今後は商品の磨き上げのため、モニターツアー等の実施が必要。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-5 観光パワーアッププロジェクト	1		5					6
	16.7%		83.3%					100.0%

【効果検証】

4-5 観光パワーアッププロジェクト

「A 地方創生に非常に効果的であった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業が約100%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-6 環境にやさしいまちの推進プロジェクト	令和4年度決算額	333,463千円
---------	------------------------	----------	-----------

適正なごみ処理により自然環境への影響を最小限に留めることや資源の有効活用、埋め立て処分場の延命化等のため、リサイクル率の向上に取り組みます。
環境にやさしい取組により、ゼロカーボンシティの実現を目指し、SDGsの達成にもつなげます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
使用済紙おむつ再資源化	技術開発中	技術開発中					運用開始

主な事業の実施状況及び効果検証	
使用済紙おむつ再資源化事業 [市民環境課環境政策室環境政策係]	
【効果・成果等】	環境省の補助事業（10割補助）により、紙おむつ専用ボックス85台を導入した。希望したモデル地区の自治会に専用ボックスを設置したことで、排出しやすい環境の整備ができた。
【課題等】	市内全域での回収に向けて、市民への周知、紙おむつ専用ボックスの設置を計画的に行っていかなければいけない。
生物多様性地域戦略策定事業 [市民環境課環境政策室環境政策係]	
【効果・成果等】	志布志市生物多様性地域戦略に基づき、志布志市生物多様性センターを設置し、市民への普及啓発や外来生物の調査・駆除を行った
【課題等】	生物多様性の保全活動に市民、事業者、団体などと連携して取り組み、生物多様性の主流化を図る必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-6 環境にやさしいまちの推進プロジェクト		1	1		1			3
		33.3%	33.3%		33.3%			100.0%

【効果検証】

4-6 環境にやさしいまちの推進プロジェクト

一部、「E 未実施（実施検討）」という事業があるものの、「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業も約67%を占め、おむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-7 安心暮らし推進プロジェクト	令和4年度決算額	11,514千円
---------	-------------------	----------	----------

高齢化が進む中であってもまちの活力を維持するため、生涯現役の社会づくりを推進します。
また、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域の実情に応じた疾病予防や健康づくりの推進による地域の活性化を図るほか、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
特定健診受診率	37.5	48.1					70
ふれあいサロン数	64	60					70

(指標の把握方法) 特定健診受診実績 (法定報告)

単位: %

(指標の把握方法) 補助金実績報告

単位: 箇所

主な事業の実施状況及び効果検証	
ふるさとづくり委員会事業 [コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	
【効果・成果等】	校区公民館を単位とした9のふるさとづくり委員会が、地域特性を生かした、地域活性化プランに基づく事業を自主的に展開した。「共生・協働・自立」のまちづくりに向けた取組が進められた。
【課題等】	コロナ禍の影響により、ふるさとづくり委員会が計画したイベント等が開催できていない。 また、2地区の委員会が担い手の不足などの理由で事業が実施できていない。地域コミュニティ協議会の設立を機に、活動再開を働きかける必要がある。
高齢者地域支え合いグループポイント事業 [保健課介護保険係]	
【効果・成果等】	地域の互助活動が活性化し、高齢者を地域全体で支える体制づくりの推進に繋がった。
【課題等】	子育て支援に対する活動においても、普及・啓発していく必要がある。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-7 安心暮らし推進プロジェクト		2	4		2			8
		25.0%	50.0%		25.0%			100.0%

【効果検証】

4-7 安心暮らし推進プロジェクト

一部、「E 未実施（実施検討）」という事業があるものの、「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」という事業が約75%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

プロジェクト名	4-8 地域防災力強化プロジェクト	令和4年度決算額	70,535千円
----------------	--------------------------	-----------------	-----------------

地域経済活性化の基盤となる人々が安心して住み続けられるまちづくりのため、地域社会に密着した存在である消防団や自主防災組織等の充実、強化を図ります。
併せて、防災に係る情報発信の強化に取り組むほか、国土強靱化や防災をはじめとする安全・安心に向けた取組を推進します。

重要業績評価指標 [KPI]	現状値 (R2)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
消防団員数	447	437					495

(指標の把握方法) 消防団員名簿

単位: 人

主な事業の実施状況及び効果検証

消防車両整備事業 [総務課危機管理G_消防交通]

【効果・成果等】 老朽化した消防車両を更新することで、非常時の出動、消火体制の機能向上が図られた。

【課題等】 平成29年の免許制度の改正により、普通自動車免許では車両総重量3.5 t 未満しか運転できなくなっており、車両購入並びに準中型免許取得について、検討が必要となっている。

防災士資格取得支援事業 [総務課危機管理G_危機管理]

【効果・成果等】 資格取得に係る講習会等は近隣で実施されていないことから、経費の増大が予想され、申請に至らなかった。

【課題等】 地域防災の担い手を育成するため、資格取得に係る機会を増やす機会を増やすとともに事業の周知を図る。

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-8 地域防災力強化プロジェクト			4					4
			100.0%					100.0%

【効果検証】

4-8 地域防災力強化プロジェクト

「C 地方創生に効果があった。」という事業で100%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

【効果検証】

評価	A	B	C	D	E	F	G	計
基本目標 4	2	11	35	2	5			55
	3.6%	20.0%	63.6%	3.6%	9.1%			100.0%
4-1 快適な生活支援プロジェクト	1	3	13		2			19
	5.3%	15.8%	68.4%		10.5%			100.0%
4-2 商工業賑わい創出プロジェクト		5	4	1				10
		50.0%	40.0%	10.0%				100.0%
4-3 公共施設最適化プロジェクト			1	1				2
			50.0%	50.0%				100.0%
4-4 広域連携推進プロジェクト			3					3
			100.0%					100.0%
4-5 観光パワーアッププロジェクト	1		5					6
	16.7%		83.3%					100.0%
4-6 環境にやさしいまちの推進プロジェクト		1	1		1			3
		33.3%	33.3%		33.3%			100.0%
4-7 安心暮らし推進プロジェクト		2	4		2			8
		25.0%	50.0%		25.0%			100.0%
4-8 地域防災力強化プロジェクト			4					4
			100.0%					100.0%

基本目標 4

全体として、「B 地方創生に相当程度効果があった。」と「C 地方創生に効果があった。」とする事業が約78%を占め、目指す指標（KPI）に対し、相当程度（目標の7～8割程度）達成したことが伺える。

第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）効果検証 一覧

【年度別（全体+基本目標）】

年度		令和4年度								
目標 / プロジェクト名	項目/評価	A	B	C	D	E	F	G	計	
基本目標1	事業数	6	9	11		3			29	
	割合	20.7%	31.0%	37.9%		10.3%			100.0%	
	昨対比									
基本目標2	事業数	2	6	14				1	23	
	割合	8.7%	26.1%	60.9%				4.3%	100.0%	
	昨対比									
基本目標3	事業数	5	16	7					28	
	割合	17.9%	57.1%	25.0%					100.0%	
	昨対比									
基本目標4	事業数	2	11	35	2	5			55	
	割合	3.6%	20.0%	63.6%	3.6%	9.1%			100.0%	
	昨対比									
全体	事業数	15	42	67	2	8		1	135	
	割合	11.1%	31.1%	49.6%	1.5%	5.9%		0.7%	100.0%	
	昨対比									

全体

「B 地方創生に相当程度効果があった。」及び「C 地方創生に効果があった。」とする事業が約80%を占め、おおむねプロジェクトを遂行し事業開始前よりも改善がみられたことが伺える。

令和5年度以降について、昨年と実績を比較しながら、事業の効果検証を行っていく。

(3) 細事業評価 一覧

基本目標 1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	令和4年度決算額	312,100千円
---------------	----------------------------------	----------	-----------

プロジェクト名	1-1 農林水産業の成長産業化プロジェクト	令和4年度決算額	57,473千円
----------------	------------------------------	----------	----------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・畑地かんがい施設の水利利用の推進（高収益品目の導入、安定生産の実現）	畑地かんがい推進作物生産拡大事業	[農政畜産課生産流通係]	1,524千円	C
・6次産業化・農商工連携の支援	農商工連携事業	[農政畜産課生産流通係]	-	E
・総合的病害虫・雑草管理（IPM）による減農薬体制支援 + ・有機農業の推進	人・農地プラン推進支援事業	[農政畜産課農政係]	33千円	C
・法人化の支援（人・農地プランにおける農業経営法人化支援事業等の活用）	農地中間管理事業	[農政畜産課農政係]	9,813千円	C
・総合的病害虫・雑草管理（IPM）による減農薬体制支援 + ・有機農業の推進	茶業振興事業補助金	[農政畜産課茶業振興係]	116千円	C
・総合的病害虫・雑草管理（IPM）による減農薬体制支援 + ・有機農業の推進	茶品質向上対策事業補助金	[農政畜産課茶業振興係]	-	E
・総合的病害虫・雑草管理（IPM）による減農薬体制支援 + ・有機農業の推進	環境保全型直接支払事業（交付金）	[農政畜産課農政係]	16,528千円	A
・スマート農業の推進	スマート農業推進事業	[農政畜産課茶業振興係]	-	E
・こころざし花木ブランドの産地づくり推進（シキミ等枝物生産面積及び生産量の拡大支援）	特用林産物（枝物）振興事業	[耕地林務水産課林務水産係]	2,260千円	B
・イワガキの養殖など「育てる漁業」の取組支援	水産振興事業	[耕地林務水産課林務水産係]	4,813千円	B
・国内の販路拡大支援（商談会・相談会・出展費用補助）	販路拡大支援事業	[港湾商工課フェリス室観光特産品係]	1,223千円	C
・国内の販路拡大支援（商談会・相談会・出展費用補助）	特産品振興事業	[港湾商工課フェリス室観光特産品係]	21,163千円	A

プロジェクト名	1-2 新規就農支援プロジェクト	令和4年度決算額	50,487千円
----------------	-------------------------	----------	----------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・新規就農者・後継者の育成及び支援	新規就農支援金事業	[農政畜産課農政係]	1,500千円	C
・新規就農者・後継者の育成及び支援	農業次世代人材投資事業	[農政畜産課農政係]	21,167千円	A
・新規就農者・後継者の育成及び支援	農業公社支援事業	[農政畜産課農政係]	27,820千円	A

プロジェクト名	1-3 企業誘致プロジェクト	令和4年度決算額	71,388千円
----------------	-----------------------	----------	----------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・工業団地整備事業（用地取得・造成・分譲）	志布志市工業団地開発事業【横断】	[港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]	24,939千円	B
・企業立地促進補助金等交付（雇用者数に応じ補助金を嵩上げ）	企業立地促進事業（市企業立地補助金）	[港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]	41,900千円	B
・企業立地推進（関東・関西で開催する企業立地懇話会・志布志港ポートセミナー、企業訪問を通じた企業誘致）	企業立地推進事業	[港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]	4,549千円	C

プロジェクト名	1-4 志布志港輸出拡大プロジェクト	令和4年度決算額	46,539千円
----------------	---------------------------	----------	----------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・志布志港を核とした物流の拡大	志布志港湾振興協議会事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	2,300千円	B
・志布志港を核とした物流の拡大	志布志港ポートセールス推進協議会事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	600千円	B
・新若浜地区国際コンテナターミナル利用促進に資する補助制度の充実	志布志港新若浜地区国際コンテナターミナル利用促進事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	43,260千円	B
・海外への販路拡大支援（マーケット調査、国内外商談会・各種研修会実施）	輸出促進支援事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	379千円	C

プロジェクト名	1-5 国内貨物志布志港利用促進プロジェクト	令和4年度決算額	45,999千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・荷主・船社訪問による航路の存続、貨物の確保	さんふらわあ志布志航路利用促進事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	13,700千円	A
・荷主・船社訪問による航路の存続、貨物の確保	鹿児島県志布志大阪航路利用促進協議会事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	7,360千円	A
・南九州地域の物流拠点としての製造業や物流倉庫業等の誘致促進	志布志市工業団地開発事業【横断】	[港湾商工課みなと振興室企業立地推進係]	24,939千円	B

プロジェクト名	1-6 地元活躍人材育成プロジェクト	令和4年度決算額	40,214千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・WEBを活用した地元企業の情報発信支援事業（雇用、就業環境など）	雇用促進事業（都城広域移住・定住促進パートナーシップ事業、企業魅力動画発信）	[港湾商工課商工振興係・企業立地推進係]	1,943千円	B
・シルバー人材センター事業等高齢者雇用の充実・拡大	高齢者労働能力活用事業	[福祉課社会福祉係]	14,600千円	C
・シルバー人材センター事業等高齢者雇用の充実・拡大	高齢者活用・現役世代雇用サポート事業	[福祉課社会福祉係]	5,000千円	C
・障がい者等の就労支援や、経済的な自立の促進	障がい者相談支援事業	[福祉課障害福祉係]	18,671千円	C

年度		令和4年度							
目標 / プロジェクト名	項目/評価	A	B	C	D	E	F	G	計
1-1 農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業数	2	2	5		3			12
	割合	16.7%	16.7%	41.7%		25.0%			100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
1-2 新規就農支援プロジェクト	事業数	2		1					3
	割合	66.7%		33.3%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
1-3 企業誘致プロジェクト	事業数		2	1					3
	割合		66.7%	33.3%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
1-4 志布志港輸出拡大プロジェクト	事業数		3	1					4
	割合		75.0%	25.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
1-5 国内貨物志布志港利用促進プロジェクト	事業数	2	1						3
	割合	66.7%	33.3%						100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
1-6 地元活躍人材育成プロジェクト	事業数		1	3					4
	割合		25.0%	75.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-

基本目標 2	ひとや企業とのつながりを築く	令和4年度決算額	6,921,623千円
---------------	-----------------------	----------	-------------

プロジェクト名	2-1 都市住民向けPRプロジェクト	令和4年度決算額	3,455,507千円
----------------	---------------------------	----------	-------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・ホームページやSNS、LINE、Instagram、全国版移住サイト等での移住者向け情報発信の充実強化	情報発信事業	[総合政策課広報・地域政策G_広報]	2,112千円	C
・ホームページやSNS、LINE、Instagram、全国版移住サイト等での移住者向け情報発信の充実強化	移住パンフレット作成事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	165千円	B
・ホームページやSNS、LINE、Instagram、全国版移住サイト等での移住者向け情報発信の充実強化	市ホームページ管理事業	[総合政策課広報・地域政策G_広報]	1,288千円	C
・ホームページやSNS、LINE、Instagram、全国版移住サイト等での移住者向け情報発信の充実強化	志布志市移住・交流支援業務	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	8,800千円	B
・住居・仕事など、移住に伴う総合案内窓口の整備	ふるさと帰帰支援センター活用事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	50千円	C
・ホームページやSNS、LINE、Instagram、全国版移住サイト等での移住者向け情報発信の充実強化	地域おこし協力隊事業【横断】	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	9,480千円	C
・特産品を活用したふるさと納税のPR【横断】	特産品振興事業【横断】	[港湾商工課フェリス室観光特産品係]	21,163千円	A
・特産品を活用したふるさと納税のPR【横断】	ふるさと納税推進事業【横断】	[港湾商工課フェリス室ふるさと納税係]	3,412,449千円	B

プロジェクト名	2-2 移住定住拡充プロジェクト	令和4年度決算額	25,672千円
----------------	-------------------------	----------	----------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・市外からのUIJターンを促進するため、住宅取得費用、家賃等の助成及びお試し移住体験ツアーの実施	UIJターン推進事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	4,000千円	B
・市外からのUIJターンを促進するため、住宅取得費用、家賃等の助成及びお試し移住体験ツアーの実施	空き家バンク事業【横断】	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	-	C
・市外からのUIJターンを促進するため、住宅取得費用、家賃等の助成及びお試し移住体験ツアーの実施	定住促進住宅用地整備事業	[松山支所総務市民課地域振興係(松)]	403千円	C
・地域おこし協力隊の活用【横断】	東京圏移住支援事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	-	G
・地域おこし協力隊の活用【横断】	地域おこし協力隊事業【横断】	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	9,480千円	C
・住宅リフォーム助成事業拡充	住宅リフォーム助成事業【横断】	[建設課建築住宅G_建築]	11,789千円	C

プロジェクト名	2-3 まち思い人材育成プロジェクト	令和4年度決算額	6,354千円
----------------	---------------------------	----------	---------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・地域全体で子どもたちの学びや成長を支える取組	キラリ輝く「しゅしゅっ」育成事業(土曜体験広場)	[教育委員会生涯学習課社会教育係]	1,080千円	C
・高等学校の魅力化	市内高等学校支援事業	[総合政策課広報・地域政策G_広報]	4,851千円	C
・郷土教育の推進	道徳教育総合支援事業	[教育委員会学校教育課指導係]	423千円	B

プロジェクト名	2-4 関係人口創出・拡大プロジェクト	令和4年度決算額	3,433,925千円
----------------	----------------------------	----------	-------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・特産品を活用したふるさと納税のPR【横断】	特産品振興事業【横断】	[港湾商工課フェリス室観光特産品係]	21,163千円	A
・特産品を活用したふるさと納税のPR【横断】	ふるさと納税推進事業【横断】	[港湾商工課フェリス室ふるさと納税係]	3,412,449千円	B
・グリーンツーリズムの推進	ツーリズム推進事業	[農政畜産課農政係]	313千円	C
・企業等との包括的な連携の推進【横断】	包括連携促進事業【横断】	[総合政策課政策推進G_政策推進]	-	C

プロジェクト名	2-5 官民連携推進プロジェクト	令和4年度決算額	165千円
----------------	-------------------------	----------	-------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・企業版ふるさと納税の推進	企業版ふるさと納税活用事業	[総合政策課政策推進G_政策推進]	165千円	C
・企業等との包括的な連携の推進【横断】	包括連携促進事業【横断】	[総合政策課政策推進G_政策推進]	-	C

年度		令和4年度							
目標 / プロジェクト名	項目/評価	A	B	C	D	E	F	G	計
2-1 都市住民向けPRプロジェクト	事業数	1	3	4					8
	割合	12.5%	37.5%	50.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
2-2 移住定住拡充プロジェクト	事業数		1	4				1	6
	割合		16.7%	66.7%				16.7%	100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
2-3 まち思い人材育成プロジェクト	事業数		1	2					3
	割合		33.3%	66.7%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
2-4 関係人口創出・拡大プロジェクト	事業数	1	1	2					4
	割合	25.0%	25.0%	50.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
2-5 官民連携推進プロジェクト	事業数			2					2
	割合			100.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-

基本目標 3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	令和4年度決算額	2,258,514千円
---------------	-----------------------------	----------	-------------

プロジェクト名	3-1 結婚支援プロジェクト	令和4年度決算額	3,446千円
----------------	-----------------------	----------	----------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・各種団体と連携した出会いサポート事業（カップリングパーティーの実施等）	出会いサポート事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	400千円	C
・新婚世帯家賃助成事業の創設（若年層移住、婚姻促進及び少子化の緩和対策）	新婚新生活支援事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	3,046千円	C

プロジェクト名	3-2 ウェルカム赤ちゃんプロジェクト	令和4年度決算額	44,194千円
----------------	----------------------------	----------	-----------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・不妊治療費助成	不妊治療費助成事業	[保健課健康支援係]	1,689千円	B
・母子健康手帳アプリによる情報配信	母子保健事業	[保健課健康支援係]	21,796千円	B
・子育て世代包括支援センターを中心とした継続的な支援	子育て世代包括支援センター事業	[保健課健康支援係]	10,009千円	B
・出産祝金の周知と支給	出産祝金支給事業	[福祉課児童福祉係]	10,700千円	C

プロジェクト名	3-3 子育て支援プロジェクト	令和4年度決算額	2,104,290千円
----------------	------------------------	----------	--------------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・子ども・子育て支援事業計画に基づく保育園の定員適正化	保育所運営事業	[福祉課児童福祉係]	1,696,497千円	A
・ファミリーサポートセンター事業の拡充	ファミリーサポートセンター事業	[福祉課児童福祉係]	75千円	B
・病児保育事業の拡充（松山地区、有明地区の2箇所の拡充）	病児保育事業	[福祉課児童福祉係]	7,493千円	B
・保育所等訪問支援事業の拡充（障がい児）	障がい児通所支援利用者負担額助成事業	[福祉課障害福祉係]	2,731千円	C
・子育て世帯への経済的支援	地域子育て支援拠点事業	[福祉課児童福祉係]	12,931千円	B
・子育て世帯への経済的支援	子どものショートステイ事業	[福祉課児童福祉係]	80千円	B
・子育て世帯への経済的支援	学校給食費補助事業	[教育委員会教育総務課給食センター管理係]	58,533千円	C
・子育て世帯への経済的支援	子ども医療費助成事業	[福祉課児童福祉係]	104,880千円	A
・子育て世帯への経済的支援	ひとり親家庭医療費助成事業	[福祉課児童福祉係]	17,714千円	B
・子育て世帯への経済的支援	自立支援教育訓練給付金事業	[福祉課児童福祉係]	53千円	A
・子育て世帯への経済的支援	高等技能訓練促進費事業	[福祉課児童福祉係]	1,730千円	A
・子育て世帯への経済的支援	就学援助事務	[教育委員会教育総務課総務係（教育）]	40,142千円	C
・放課後における児童の健全育成	放課後児童健全育成事業	[福祉課児童福祉係]	161,431千円	A

プロジェクト名	3-4 仕事子育て両立支援プロジェクト	令和4年度決算額	2,857千円
----------------	----------------------------	----------	----------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・ワーク・ライフ・バランスの推進及び働きやすい職場環境の整備促進	女性活躍推進事業	[コミュニティ推進課ダイバーシティ推進係]	914千円	B
・鹿児島労働局との「雇用対策協定」締結に基づく実効性ある施策の展開【横断】	雇用促進事業	[港湾商工課商工振興係・企業立地推進係]	1,943千円	B

プロジェクト名	3-5 こころざしアップ教育推進プロジェクト	令和4年度決算額	103,727千円
----------------	-------------------------------	----------	------------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・「志学教室」（土曜学習教室）の開講	土曜学習教室事業	[教育委員会学校教育課指導係]	873千円	B
・小中学校の英語・外国語教育の充実	中学校英語技能検定実施事業	[教育委員会学校教育課学校教育係]	1,531千円	B
・グローバルな人材育成を目指した取組	子ほめ条例表彰事業	[教育委員会学校教育課学校教育係]	420千円	B
・グローバルな人材育成を目指した取組	外国語指導助手活用推進事業	[教育委員会学校教育課指導係]	12,411千円	B
・授業改善による学力向上	学力向上推進事業	[教育委員会学校教育課指導係]	508千円	B
・計画的なICT環境の整備	デジタル教科書導入事業	[教育委員会学校教育課指導係]	4,600千円	B
・計画的なICT環境の整備	教育用・校務用コンピューター導入事業	[教育委員会教育総務課総務係（教育）]	83,384千円	C

年度		令和4年度							
目標 / プロジェクト名	項目/評価	A	B	C	D	E	F	G	計
3-1 結婚支援プロジェクト	事業数			2					2
	割合			100.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
3-2 ウェルカム赤ちゃんプロジェクト	事業数		3	1					4
	割合		75.0%	25.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
3-3 子育て支援プロジェクト	事業数	5	5	3					13
	割合	38.5%	38.5%	23.1%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
3-4 仕事子育て両立支援プロジェクト	事業数		2						2
	割合		100.0%						100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
3-5 ころざしアップ教育推進プロジェクト	事業数		6	1					7
	割合		85.7%	14.3%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-

基本目標 4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	令和4年度決算額	1,034,317千円
---------------	----------------------------	----------	-------------

プロジェクト名	4-1 快適な生活支援プロジェクト	令和4年度決算額	290,646千円
----------------	--------------------------	----------	------------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	志布志市まちづくりマスタープラン推進事業	[建設課都市計画G_都市計画]	65千円	E
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	共生・協働・自立推進事業	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	-	E
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	自治振興事業（自治会提案型活性化助成事業）	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	31,636千円	C
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	自治振興事業（自治会運営助成事業）	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	34,762千円	C
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	自治振興事業（自治会統合推進事業）	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	1,044千円	C
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	自治振興事業（自治会集会施設等整備事業）	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	1,995千円	C
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	地域コミュニティ協議会形成促進事業	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	24,785千円	B
・地域の特性を生かしたコンパクトなまちづくり	校区公民館連絡協議会支援事業	[教育委員会生涯学習課社会教育係]	11,494千円	C
・情報通信網の維持及び高速大容量化の推進	通信設備維持管理事業	[情報管理課地域情報係]	84,531千円	A
・情報通信網の維持及び高速大容量化の推進	告知放送端末管理事業	[情報管理課地域情報係]	5,157千円	B
・JR日南線利用促進連絡協議会による啓発強化	JR日南線利用促進連絡協議会参画事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	444千円	C
・新たな公共交通ネットワークの構築及び交通空白地域の解消の検討	地方公共交通対策事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	20,439千円	C
・新たな公共交通ネットワークの構築及び交通空白地域の解消の検討	チョイソコしぶし運行事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	20,229千円	B
・新たな公共交通ネットワークの構築及び交通空白地域の解消の検討	志布志市地域公共交通活性化協議会運営事業	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	9,068千円	C
・新たな公共交通ネットワークの構築及び交通空白地域の解消の検討	福祉タクシー運行事業	[福祉課社会福祉係]	18,450千円	C
・空き家対策の推進	危険廃屋解体撤去事業	[建設課建築住宅G_建築]	14,746千円	C
・空き家対策の推進	住宅リフォーム助成事業【横断】	[建設課建築住宅G_建築]	11,789千円	C
・空き家対策の推進	空き家バンク事業【横断】	[総合政策課広報・地域政策G_地域政策]	-	C
・誰もが安心して暮らせる多文化共生社会の実現	多文化共生推進事業	[コミュニティ推進課ダイバーシティ推進係]	12千円	C

プロジェクト名	4-2 商工業賑わい創出プロジェクト	令和4年度決算額	189,194千円
----------------	---------------------------	----------	------------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・官民一体による中小企業に対する包括的な支援	県営業時間短縮要請協力金給付事業負担金	[港湾商工課商工振興係]	13,458千円	B
・官民一体による中小企業に対する包括的な支援	経営持続化しぶし版応援給付金	[港湾商工課商工振興係]	78,220千円	C
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	創業者等応援支援事業	[港湾商工課商工振興係]	7,553千円	B
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	事業継続設備投資等支援事業	[港湾商工課商工振興係]	3,373千円	B
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	商工会活動費補助事業	[港湾商工課商工振興係]	9,500千円	B
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	商工業資金利子補給金交付事業	[港湾商工課商工振興係]	2,309千円	C
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	オラレ志布志事業	[港湾商工課商工振興係]	13,837千円	B
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	プレミアム商品券発行事業	[港湾商工課商工振興係]	58,728千円	C
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	事業承継支援事業	[港湾商工課商工振興係]	-	D
・地域経済の維持及び発展を図るための支援	商店街活性化イベント事業	[港湾商工課商工振興係]	2,216千円	C

プロジェクト名	4-3 公共施設最適化プロジェクト	令和4年度決算額	22,850千円
----------------	--------------------------	----------	-----------------

取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・公共施設等の長寿命化の推進、維持管理コストの削減、総資産量の適正化の実施	固定資産台帳維持管理事業	[財務課管財係]	5,445千円	D
・公共施設等の長寿命化の推進、維持管理コストの削減、総資産量の適正化の実施	志布志市地域優良賃貸住宅整備事業	[建設課建築住宅G_建築]	17,405千円	C

プロジェクト名	4-4 広域連携推進プロジェクト	令和4年度決算額	4,210千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・定住自立圏の共生ビジョンに掲げた取組の推進（大隅定住自立圏）（都城広域定住自立圏）	定住自立圏構想事業【横断】	[総合政策課政策推進G_政策推進]	129千円	C
・大隅総合開発期成会及び南九州総合開発協議会における広域連携の取組推進	大隅総合開発期成会企画事業	[総合政策課政策推進G_政策推進]	503千円	C
・株式会社おおすすめ観光未来会議による大隅エリア観光戦略の推進	大隅広域観光開発推進事業【横断】	[港湾商工課フェイセルズ室観光特産品係]	3,578千円	C

プロジェクト名	4-5 観光パワーアッププロジェクト	令和4年度決算額	111,905千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・ダグリ岬公園周辺整備基本計画の整備推進	ダグリ岬周辺景観整備事業	[港湾商工課フェイセルズ室観光特産品係]	18,830千円	C
・歴史遺産を活用した観光まちづくり（歴史遺産の保全と観光資源化）	歴史のまちづくり事業	[教育委員会生涯学習課文化財管理室指定文化財係]	81,494千円	C
・広域連携による観光振興	大隅広域観光開発推進事業【横断】	[港湾商工課フェイセルズ室観光特産品係]	3,578千円	C
・広域連携による観光振興	定住自立圏構想事業【横断】	[総合政策課政策推進G_政策推進]	129千円	C
・広域連携による観光振興	魅力ある観光地づくり事業	[港湾商工課みなと振興室みなと振興係]	782千円	C
・スポーツ合宿受入拡大と施設・環境整備推進	スポーツ合宿誘致事業	[港湾商工課フェイセルズ室観光特産品係]	7,092千円	A

プロジェクト名	4-6 環境にやさしいまちの推進プロジェクト	令和4年度決算額	333,463千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・ごみの最終処分場の延命化及び地球温暖化対策の推進	使用済紙おむつ再資源化事業	[市民環境課環境政策室環境政策係]	-	E
・ごみの最終処分場の延命化及び地球温暖化対策の推進	ごみ収集運搬・処理事業	[市民環境課環境政策室環境政策係]	331,164千円	C
・生物多様性地域戦略に基づく事業の実施	生物多様性地域戦略策定事業	[市民環境課環境政策室環境政策係]	2,299千円	B

プロジェクト名	4-7 安心暮らし推進プロジェクト	令和4年度決算額	11,514千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・障がい者が安心して暮らせる生活の維持・支援	地域生活支援事業（巡回支援専門員整備事業）	[福祉課障害福祉係]	1,244千円	C
・障がい者が安心して暮らせる生活の維持・支援	意思疎通支援事業	[福祉課障害福祉係]	-	E
・障がい者が安心して暮らせる生活の維持・支援	移動支援事業	[福祉課障害福祉係]	1,511千円	C
・障がい者が安心して暮らせる生活の維持・支援	日中一時支援事業	[福祉課障害福祉係]	3,287千円	C
・障がい者が安心して暮らせる生活の維持・支援	スポーツ・芸術・文化事業	[福祉課障害福祉係]	-	E
・互助活動を活性化し高齢者を地域で支援	ふるさとづくり委員会事業	[コミュニティ推進課地域コミュニティ係]	3,572千円	C
・ふれあいサロン事業の充実・拡大（地域のリーダー育成）	高齢者地域支え合いグループポイント事業	[保健課介護保険係]	1,104千円	B
・ふれあいサロン事業の充実・拡大（地域のリーダー育成）	高齢者元気度アップ・ポイント事業	[保健課介護保険係]	796千円	B

プロジェクト名	4-8 地域防災力強化プロジェクト	令和4年度決算額	70,535千円	
取組内容	事業名	担当課/係名	決算額	事業効果
・団員処遇の広報、団員のいる企業への優遇措置による入団者の確保	消防団活動支援事業	[総務課危機管理G_消防交通]	8,394千円	C
・消防車両、救出救助資機材等の整備	消防車両整備事業	[総務課危機管理G_消防交通]	54,560千円	C
・消防車両、救出救助資機材等の整備	消防資機材整備事業	[総務課危機管理G_消防交通]	7,581千円	C
・消防団員の資質・能力向上のため、訓練等実施	防災士資格取得支援事業	[総務課危機管理G_危機管理]	-	C

年度		令和4年度							
目標 / プロジェクト名	項目/評価	A	B	C	D	E	F	G	計
4-1 快適な生活支援プロジェクト	事業数	1	3	13		2			19
	割合	5.3%	15.8%	68.4%		10.5%			100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-2 商工業賑わい創出プロジェクト	事業数		5	4	1				10
	割合		50.0%	40.0%	10.0%				100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-3 公共施設最適化プロジェクト	事業数			1	1				2
	割合			50.0%	50.0%				100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-4 広域連携推進プロジェクト	事業数			3					3
	割合			100.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-5 観光パワーアッププロジェクト	事業数	1		5					6
	割合	16.7%		83.3%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-6 環境にやさしいまちの推進プロジェクト	事業数		1	1		1			3
	割合		33.3%	33.3%		33.3%			100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-7 安心暮らし推進プロジェクト	事業数		2	4		2			8
	割合		25.0%	50.0%		25.0%			100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-
4-8 地域防災力強化プロジェクト	事業数			4					4
	割合			100.0%					100.0%
	昨対比	-	-	-	-	-	-	-	-